

令和5年度 外国語（英語）科 授業改善推進プラン

大田区立出雲中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・リスニングテストやディクテーションを行っていることが聞く力に関しては、成果として現れてきている。

(2) 課題

- ・「書くこと」に関して、場面の状況を判断し場合に応じた作文が課題である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	全ての観点で目標値を上回っている。特に、「読むこと」の問題においては、全国平均を上回っている項目が多い。	/	/
第2学年	聞くこと以外は読むこと書くこと目標値を下回る。	読むこと、書くことで目標値を下回る。	/
第3学年	多くの観点で目標値を上回っているが、読むことの問題において目標値を下回っている。	全ての観点で目標値を上回っている。特に、「書くこと」の問題に関しては、区平均・全国平均ともに上回っている。	多くの観点で目標値を上回っている。特に「読むこと」の問題において全国平均を上回っている項目が多い。

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語彙力を向上させ、正しいつづり・語順で書かせる。	既習事項を活用し、情報を正確に聞き取ったり、正しい英語で表現したりすることが課題である。	授業の中での発言がとても多く、積極的に学習に取り組む生徒が多い。授業内容を確実に定着させることが課題である。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
英文の読み取りは、命令文など苦手な文法事項があり、点が取れていない。そのことが、「聞くこと」「読むこと」に影響を与えている。	聞く力についてはついてきているが、3文以上の英作文や、場面に応じて書く英作文が極端にできない。	集中力がなく、少し長い文を読んだり、書いたりすることに慣れていない。持続してやりぬくことができない。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語形や語法の知識の定着をさせていくことが大切である。	場面に応じた英作文を書く力を身に着けていくことが課題である。	真面目に授業に取り組む生徒は多いが、スローラーナーとの学力の差に課題がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
英語のルールを理解し、正しい語順、正しい表現で書くことができるよう粘り強く何度も練習する機会を与える。	学習したことを生かし、自ら思考し表現する機会（話す、書く）を沢山与える。	ICTを活用し、生徒の興味・関心の湧くようなアクティビティーを取り入れていく。また、自学自習ができるようなきっかけも与えていきたい。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文法、単語の強化、基礎の徹底が必要である。	少しまとまった文章を読んだり、書いたりする機会を増やし、実践する。	集中力の持続ができるよう、教材など工夫を凝らし、飽きない授業展開をする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自学習や日々の授業の中で、文法知識のインプットとアウトプットの練習を増やしていく。	既習事項を活用し、自分の言葉で英文を書く活動を増やしていく。	視覚的、聴覚的な教材を多用し、積極的に参加できる授業展開を工夫していく。さらに、段階的な授業展開を行い授業の達成感を感じさせる。